

2024(令和 6)年度事業計画書および収支予算書

2024(令和 6)年 3 月 27 日

東京都大田区羽田旭町 1 1 番 1 号

公益財団法人 荏原 畠山記念文化財団

2024(令和 6)年 3 月 27 日

2024(令和 6)年度 事業計画書

公益財団法人 荏原 畠山記念文化財団

1. 学術・科学技術の普及振興及びこれを目的とする機関・団体・個人に対する援助

[定款第 4 条 1 項 (1)]

A. 一般社団法人日本機械学会に対し 200 万円を助成し、同学会は全国の国公立大学、短期大学および工業高等専門学校から、今年度における機械工学科ならびに関連諸学科卒業生のうち優秀な者(各学科原則 1 名、合計約 350 名)の推薦を受け、「畠山賞」を授与し表彰する。
(公 1)

B. 公益社団法人発明協会に対して 100 万円を助成し、同協会は公募・推薦、選考による今年度の恩賜発明賞受賞者に対し「畠山一清賞」を授与して発明の奨励、科学技術の振興を図る。
(公 1)

2. 学術・科学技術の研究に関する公私の機関・団体・個人に対する援助

[定款第 4 条 1 項 (2)]

A. 学術および科学技術振興のために研究助成制度を定め、国内の研究者を対象に 630 万円(原則 70 万円×9 名)を計上し、インターネットによる公募を行い、推薦委員会により選考推薦された者に対して理事会の決議により助成する。

(公 1)

B. 一般社団法人ターボ機械協会に対して 100 万円を助成し、同協会は公募、選考により「畠山研究助成金」を支給する。 (公 1)

C. ジャポニスム学会公開シンポジウムの共催費用として同学会に対し 120 万円を支出する。 (公 1)

3. 育英奨学団体・学校等を通じたの児童・生徒・学生に対する援助

[定款第 4 条 1 項 (3)]

A. 公益財団法人加越能育英社に対し「畠山奨学金」として 100 万円を助成し、同法人は公募、選考により理系の優秀な大学生 4 名に奨学金を給付する。また、同法人は奨学資金積立金等 20 万円を充当し、「畠山育英賞顕彰事業」として理系学生 2 名を表彰する。 (公 1)

B. 石川県に対し畠山育英資金として 250 万円を助成し、同県は公募、選考により高等学校生徒 約 25 名に 1 名あたり月 8,000 円を奨学金として支給する。 (公 1)

C. 全国の児童養護施設等を退所し大学に進学する翌年度新入学生 4 名を対象に、原則 4 年間にわたり、学業を続けるに必要な費用の一部 (120 万円/人/年) を助成する。給付時期は入学前、進級後を目途とする。

これは、インターネットによる新入生の公募を行い、推薦委員会により選考・推薦された者に対して、理事会の決議により退所児童養護施設等を通じて助成するものである。助成額は、120 万円×4 人=480 万円とする。

また、助成中の 10 名 (2 年～4 年に進級) に対し、推薦委員会による継続助成

審査に合格した場合、120万円×10人=1200万円を助成する。(総計1,680万円/年)

(公 1)

4. 社会文化・芸術・スポーツの振興に資するための施策及び援助

[定款第4条1項(4)～(9)]

A. 畠山記念館の事業として以下の事業を行う。

(公 2)

はじめに 畠山記念館改築工事について

2020年11月2日に正式着工後、本館改修工事は2021年8月末に内装仕上げの一部を残して完了、新館建築は基礎躯体工事を2022年2月末に完了後順調に工事は進行し、2024年3月末に契約納期通り工事竣工予定。

I. 公開展覧

2024年度は枯らし期間を終え、年度内は秋から2回にわたって記念展覧会を開催する予定としている。

【秋季】

展覧会名称：與衆愛玩 -共に楽しむ- (仮称)

期間：2024年10月5日(土)～12月8日(日) 通算57日間 (予定)

会場：本館2階展示室、新館2階展示室・地下1階展示室

【冬季】

展覧会名称：琳派蒐集と好みの道具 併設：光悦「雪峯」茶碗の茶会 (仮称)

期間：2025年1月18日(土)～3月16日(日) 通算49日間 (予定)

会場：本館2階展示室、新館2階展示室・地下1階展示室

II. 所蔵品の維持

(1) 美術品の保管・修復

収蔵品の保管環境を点検し、その維持管理に努めるとともに、修復が必要な美術品には外部の専門家等との連携のもと、緊急性の高いものから適宜措置を施しながら公開に備える。

改築工事に伴い京都国立博物館に寄託した収蔵品は、4月に本館収蔵庫に戻す予定としている。なお、大分県立美術館、島根県立美術館における展覧会

「畠山記念館の名品展」を巡回した美術品は6月に戻ってくる予定である。

(2) 美術品の寄贈・寄託、および購入

美術品の寄贈および寄託の申し出があった場合は、審査の上、これを受け入れる。

Ⅲ. 調査・研究

(1) 調査研究

畠山記念館の核をなす茶道具研究を深めるとともに、館蔵品およびそれに関連する資料、展覧会企画に資するテーマについて調査研究を進め、図録や会記などの当館刊行物や館外刊行物、研究会等において報告を行う。また調査研究の成果を、休館中の館外展およびリニューアル後の展覧会企画に活かすことを目指す。休館中の集中的作業として、作品および資料の全数調査を行い、適宜写真を撮り資料とする。

(2) 写真およびデータの整理

館蔵品の写真整理を行い、データベース化を進めるほか、必要に応じて資料写真や映像およびテキストの電子データ化を行い、作品情報のデータベース化を進める。

(3) 会議、学会、研修会への参加

美術品にかかわる各種会議、学会、研修会へ参加し、国内外の研究者や研究機関と交流を深め、情報交換や共同研究を目指す。

IV. 普及事業

(1) 講演会・講座など

展覧会に連動した講演会、列品解説、ミニトーク、茶室での教育普及プログラム等を計画し、展覧会に合わせ効果的に実行していく。館外展での普及活動は、主催館と協調して実施し、当館の認知やリニューアル後の集客に結び付けることに努める。

(2) 友の会

茶道および茶道に関する美術への理解と普及を目的として、友の会の活動を展開する。年会費は10,000円で畠山コレクションカレンダー2025を一本贈呈するほか、会員対象の講座、及び茶会を有償実施する。2024年度も引き続き新規会員の獲得に努める。

① 講座 <定例講座・特別講座> 講師：当館学芸員

8月前後から講座の再開を検討する。

<定例講座>

・火曜日「書を観て楽しむ」(全5回)

茶席や美術館で書の作品を前にしたとき、「書は読めない、難しい」と感じたことのある方のために、書に親しんでもらうことを目的とした講座。読みだけではなく、書の見方や魅力についても紹介する。2024年度は「王朝びとの書と歌」をテーマに平安時代のかな作品の鑑賞と、変体仮名を中心とした「くずし字」の読み方の基礎を演習する。

・水曜日「鑑賞講座 畠山コレクションを味わう」(全5回)

畠山記念館の展覧会をより楽しんでいただくための講座。所蔵作品から毎回異なるテーマを選び、作品の見どころを紹介する。作品自体の魅力や各作品を取り巻くエピソードを紹介する。書画、陶磁器、竹・漆工芸品についてバランスよく学べる講座。

- ・木曜日「茶会日記を読む」（全5回）

茶会の道具組や懐石の献立を記した畠山即翁の「茶会日記」は、近代数寄者の茶会内容を知ることのできる好資料といえる。即翁の自会記、他会記各100回を精選・復刻した「茶会日記」をテキストに、くずし字の解説を行い、茶会内容を探る。

<特別講座>

- ・「2025 畠山コレクションカレンダーを味わう」

畠山コレクションカレンダー2025年版の完成を記念し、11月末に書画と工芸作品に分けて全2回の特別講座を実施する。

② 茶会

新型コロナウイルス感染症の状況を見極め、茶会開催が可能と見通せた時に友の会茶会開催の計画を行うことにする。

(3) 広報

ホームページを更新し、展覧会再開に向け広報活動を行っていく。また、友の会の活動をホームページ、「友の会だより」でお知らせする。

(4) 美術品の貸出

信頼できる機関からの申請であり、有意義な展示および催事とみなされ、運搬や展示環境に問題がなく、作品の保存状態と予定された展示スケジュールに支障がない場合、所蔵美術品の館外貸出を行う。

(5) 画像の貸出

美術品鑑賞における教育普及、あるいは学術上有意義と認められる場合、所蔵美術品の画像の貸出を行う。

(6) 施設の貸出

改築工事完了を受け、申請による苑内の茶室の使用を再開する。これに先んじて、茶室の補修を実施する。

(7) 館外展

改築工事による長期休館中の館外での巡回展を計画的に進める。現在、京都国立博物館に寄託中の当館収蔵品の一部を、西日本地区に巡回し特別展「畠山記念館名品展」を2023年度末の大分県立美術館に引き続き、2024年4月19日(金)から6月10日(月)まで開催する。

(8) 収蔵品返還受入れ

現在、京都国立博物館に寄託中の収蔵品を、当館本館収蔵庫が完成し、収納可能な状態となった後、4月上旬、下旬に返還、輸送・収納を行う予定としている。

また、上記館外展に出品の美術品は6月中に輸送・収納予定である。

(9) ミュージアム・グッズの企画・開発

当館や所蔵美術品にもっと気軽に親しんでもらうことを目的として、絵葉書やカレンダーなどの当館オリジナルグッズを企画・開発し、販売する。

また、新装開館時のミュージアム・ショップ設置に伴う販売スペースの拡充を踏まえ、新規ミュージアム・グッズの企画・開発を実施する。併せてショップ運営・販売促進を実行する。

(10) ミュージアム・カフェの企画

新装開館時のミュージアム・カフェ開店を踏まえ、メニュー、運営方式等を計画し、実行に向けて手筈を整える。

V. その他

(1) 事務所の移転

改築工事完了を受け、事務機能の引越を4月下旬に完了させ、新館 管理室・学芸員室における事務作業を開始する。また、日通倉庫に保管中の資料類の回収・収納作業を併せて実施する。

(2) 茶室・庭園の整備

茶室の修繕および苑内の樹木剪定を行う。

(公 2 ・ 収)

B. 公益財団法人七尾城祉文化事業団に対し、公益目的事業費の一部（七尾城史資料館分）として100万円を助成する。

(公 1)

以 上

資金調達及び設備投資の見込について

(2024年4月1日から2025年3月31日まで)

公益財団法人 荏原 畠山記念文化財団

1. 資金調達の見込について

畠山記念館改築に関わり、2024年度は16億5千万円程度の借入を予定しています。(2023年度に予定していた本館・新館の引渡しによる契約代金の支払いが2024年度にずれ込みました。2023年度末までの借入累計20億5千万円程)

新規借入は2024年度で終了します。

2. 設備投資の見込について

(ア) 2024年3月末に新館及び本館とも竣工予定である。

(イ) 庭園改修工事として予定された範囲は、2024年3月末に竣工予定である。予定範囲外の庭園改良・改修工事を継続して実施。

(ウ) 2024年4月より、改築工事契約に含まれない什器等の購買は、自己資金にて行う予定。

以上

